

2第14号陳情 30人以下学級の早期実現を求める陳情

受理年月日 令和2年11月19日

陳情者

[Redacted Name and Address]

付託する委員会 厚生文教委員会

陳情趣旨

新型コロナウイルス感染から子供たちの命と健康を守るとともに、学ぶ権利と健全な学校生活を保障するために

1. 30人以下学級を進めるように、国や都に意見書を出して働きかけてください
2. 東大和市独自に30人以下学級に相当する少人数学級を実現してください

陳情理由

東京都では、小学校1・2年と中学校1年で35人学級が行われています。しかし、せっかくの35人学級も、小学校3年や中学校2年になるときに、急に40人規模の学級になる学校が多くあります。一人一人の子供の声に耳を傾け、気持ちやつぶやきを受け止め、どの子も分かるまで丁寧に教えられるように1クラスの人数を30人以下に減らすことは、なんとしても必要なことです。ですから、35人学級の制度が段階的に全学年に拡大し、さらに少人数学級へと制度が進んで行くことを切望してきました。

新型コロナ感染の流行で、多くの学校で少人数の分散登校が行われました。様々な不安を抱える子供たちに寄り添い、感染防止のための手洗いなどの指導をしたり消毒作業をしたり、戸惑うことばかりでしたが、「クラス半分の人数だと子供たち一人一人に目が届く。」という声が多く届けられました。この状況で凶らずも、教育条件整備、特に少人数学級の大切さが明らかになりました。

東大和市議会においては、数年来、少人数学級を求める意見書が採択され、国や東

京都に対して意見書を上げてきました。全国的にも世論が大きく広まり、東京都以外の他の多くの自治体では35人学級や30人学級が進んでいます。

子供たちが健やかに伸び伸びと成長してゆくために、30人以下学級の実現は緊急な課題と考え、陳情いたします。